



みんなで150周年に向かって！

川小だより

学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】

令和6年 3月26日(火) No.15

狭山市立入間川小学校

〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9

TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

児童数 3/25 現在  
491名

## 人生をコントロールできる人に

校長 伊藤 秀一

人生をコントロールできる人になってほしい。以下は22日(金)に行われた本校の卒業証書授与式で卒業生の<sup>はなむけ</sup>餞に送った校長式辞で、本日の修了式でも在校生(1～5年生)への話に用いた内容です。

——「人生をコントロールする」、この夏開催されるパリオリンピック卓球シングルス代表となった平野美宇選手が、代表の座を射止めた際にインタビューで語った言葉です。

前々回のリオデジャネイロオリンピックには出場できず、悔しい思いをした平野選手は、「ここ一番の大事な場面で、相手のミスを待つのではなく、自分から攻める姿勢で戦った」と言葉を続けました。以前の平野選手は大事な試合で、相手のミスを待つという消極的な姿勢になっていたのかもしれませんが。そこで今回のオリンピック出場を決める試合では、自分から攻めるという意識を大切にしたからこそ、オリンピック出場という大きな夢を自分で実現できたのではないのでしょうか。

児童の皆さんにも、例えば、将来どのような学校に入学するのか、どのような仕事を選ぶのか、を決めるときがきます。そのとき、しっかりと自分で決めて選べるよう、たくさんの情報を持っていて、よい物を選ぶ力が必要です。その力を身につけるために、知識と判断力が必要で、これらは学習の中で育ちます。

皆さんは、国語や算数など様々なことを学習しています。学習の中で、友達と話し合う時間に、自分の考えと友達の考えを比べ「自分の考えとお友達の考えのよいところを合わせよう」など工夫したりしたと思います。こうした学習の経験が、よい物を選ぶ力を育ててくれます。——

学習する目的は一つではありませんが、児童にお話しした、「自分で考え判断できる力」を培うことは、そのうちの多くを占めていると思います。そのために、今年度も教職員一丸となって教育活動に取り組んで参り、その成果が、卒業証書授与式・修了式での充実した児童の表情に表れていたのだと確信しております。

保護者・地域の皆様の御理解と御協力により、今年度は、ほとんどの学校行事をはじめとする諸事業をコロナ禍前の従来通りの形で滞りなく実施することができ、その中で児童は心身ともに、大きく成長しました。改めて心から御礼申し上げます。